

議会だより

# かみやま

第 23 号

2014. 11. 14

9月定例会



神山町を訪れた小泉進次郎内閣府大臣政務官

9月定例会は、平成26年9月10日から18日まで9日間の会期で開催した。提出議案は、26年度補正予算専決1件、26年度補正予算3件、25年度決算認定5件、条例の制定3件、条例の一部改正1件、請負契約の締結1件、人事案件1件、過疎計画変更1件、報告2件など18議案を審議し、すべて承認、可決、同意した。

一般質問では5議員が登壇し（6～10ページに掲載）それぞれ町の考えを質問した。

日	平成26年9月定例会議案事項	掲載頁
第1日	町長から行政報告	3頁
	一般会計補正予算（第3号）について 【上程・審議・承認】 一般会計補正予算（第4号）について 【上程・審議保留】 特別会計補正予算について（国民健康保険・介護保険） 【上程・審議保留】	4－5頁
	条例の制定・一部改正 【上程・審議保留】 ・神山町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について ・神山町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について ・神山町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について ・神山町重度心身障害者等に対する医療費の助成に関する条例の一部改正について	4－5頁
	過疎地域自立促進計画の一部変更について 【上程・審議保留】 平成26年度神山町簡易水道集中監視システム 更新事業請負契約の締結について 【上程・審議保留】	
第2日	平成25年度神山町一般会計歳入歳出決算認定について 【上程・審議保留】 平成25年度神山町特別会計歳入歳出決算認定について 【上程・審議保留】 （国民健康保険・簡易水道事業・介護保険・後期高齢者医療） 監査委員意見書陳述・決算関係書類審査	4－5頁
第3日	一般質問 西崎議員 五島議員 坂口議員 森本議員 木元議員	6－10頁
第7日	町内視察 神領字谷「簡易水道中央配水池整備工事」	11頁
	決算関係書類審査	12－13頁
第9日	第1日保留議案の審議 【審議・可決】	
	第2日保留議案の審議（決算認定） 【審議・認定】	
	人事議案（教育委員会委員の任命） 【上程・同意】	
	その他（議員派遣・委員会の閉会中の継続調査） 【上程・可決】	

※第4日・5日・6日は休日、第8日はその他の理由により休会とした。

# 行政報告(町長)

## ● 8月の台風11号について

台風11号が10年ぶりに四国上陸し、広野観測所で729mm、福原観測所で937mm、寄井観測所で782mm、岳人の森で799mmの大雨を記録した。

河川の被害箇所2箇所、被害額5300万円。町道、18箇所1億5270万円。農地、農道14箇所、3250万円。林道5路線1億7000万円。観光施設、1箇所600万円。農業関係施設作物120万円など、最近にない大きな被害が発生。  
※被害額は災害発生時における報告額。

## ● 県内の自主防災組織率

神山町内で24団体、44・1%で県下最下位であり、災害発生時の自助、共助が重要であり今後も自主防災組織の設立に力を注いでいきたい。

## ● 東京目黒さんま祭りの協賛

第19回目黒さんま祭りが、9月7日に開催され、宮古市より山本市長、前川議長、宮古水産高校、東京宮古ふるさと会の皆さんが、さんま7000匹の提供とともに参加。本町からは町長、相原議長、JA名西郡組合長、産業観光課の職員ほかに参加。すだちの更なる認知度アップに努めた。

また消費拡大を目的に地域おこし協力隊、アグリスト神山の皆様などによる「東京すだち遍路」を企画。

## ● 森林境界の明確化事業

平成11年度から実施し、現在1500ヘクタールの森林境界の明確化を実施した。今後も過疎化、高齢化による放置山林の増加により、境界確認が難しくなってくるので、今後も事業継続してもらうべく国への要望を続けたい。

## ● 四国88ヶ所霊場と遍路道の世界遺産登録をめざして

本年度より藤井寺から焼山寺を経て、鍋岩に至る遍路道やその周辺史跡の調査を行い、世界遺産登録の要件となっている国史跡指定を目的とした、四国遍路道埋蔵文化財等測量業務をはじめめる。

## ● 学校給食共同調理場建替工事

給食センターは平成2年3月に建築。現施設では学校給食衛生基準に対応できないため建替えを計画。隣接する青雲寮について将来的には解体し、跡地の有効活用を行うこととしており、給食センターも取り壊し、神山中学校敷地内への建替移転を予定。

## ● 子ども子育て支援制度に伴う条例制定について

平成24年8月に子ども子育て関連法が成立したことにより、町が保育施設などの認可や運営基準について、条例を定めなければならぬため条例制定案を提出。

# 補正予算・条例制定・条例改正・契約締結

( ) は予算総額


## 平成26年度補正予算

一般会計（第3号・4号）補正額	5億1986万円（49億7789万円）
国民健康保健特別会計（第2号）補正額	1686万円（9億7599万円）
介護保険特別会計（第2号）補正額	29万円（9億8652万円）

---

予算合計	補正額 5億3701万円（76億5259万円）
------	-------------------------

※一般会計、4特別会計の総計

補正予算・条例制定・条例改正・契約締結の主な内容	
総務課	<p>過疎地域自立促進計画の一部変更について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校給食共同調理場の建替工事を追加</li> </ul>
健康福祉課	<p>平成26年度一般会計補正予算（4号）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・下分保育所調理場備品購入費 320万円</li> <li>・子育て支援補助金 48万円</li> <li>・老人ホーム防水改修工事設計業務委託料 250万円</li> <li>・県生活再建特別支援補助金 75万円</li> </ul> <p>平成26年度介護保険特別会計（2号）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ケア会議医療介護連携委員報償 12万円</li> </ul> <hr/> <p>○神山町家庭的保育事情等の設備及び運営に関する基準を定める条例 内容：児童福祉法の規定に基づき、家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める。</p> <p>○神山町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例 内容：子ども・子育て支援法の規定に基づき、特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める。</p> <p>○神山町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例 内容：児童福祉法の規定に基づき、放課後児童健全育成事業の設備運営に関する基準を定める。</p> <p>○神山町重度心身障害者等に対する医療費の助成に関する条例の一部改正 内容：母子及び寡婦福祉法から母子及び父子並びに寡婦福祉法への改称に伴う条例の一部改正</p>
	

補正予算・条例制定・条例改正・契約締結の主な内容

建設課	平成26年度一般会計補正予算（3号）【専決】 ・現年発生農地農業用施設災害復旧工事 3350万円 ・現年発生農地農業用施設単独災害復旧工事 2000万円 ・重機等借上料（林道） 800万円 ・現年林道災害復旧工事 1億8000万円 ・現年林道単独災害復旧工事 500万円 ・重機借上料（公共土木） 600万円 ・現年発生公共土木施設災害復旧工事 1億7000万円 ・現年発生公共土木施設単独災害復旧工事 2400万円 ・創造の森施設災害復旧工事 600万円 平成26年度一般会計補正予算（4号） ・県単林道工事 151万円 ・県単急傾斜地崩壊対策工事 991万円
	平成26年度神山町簡易水道集中監視システム更新事業請負契約 ・契約金額 1億1664万円 ・工期 平成26年9月11日～平成27年3月25日 ・請負業者 アンリツ(株)ネットワークス営業本部 大阪府吹田市江坂町1-23-101
保険課	平成26年度国民健康保険特別会計補正予算（2号） ・退職者被保険者等療養給付費 1418万円 ・退職者被保険者等高額療養給付費 300万円
農業委員会	平成26年度一般会計補正予算（4号） ・農地情報管理システム改修業務委託料 200万円
教育委員会	平成26年度一般会計補正予算（4号） ・四国遍路道埋蔵文化財等測量業務委託料 422万円 ・学校給食共同調理場建替工事設計業務委託料 910万円
産業観光課	平成26年度一般会計補正予算（4号） ・農作物被害対策施設整備補助金 100万円 ・森林境界の明確化業務委託料 1061万円



西崎哲夫議員



- ①避難勧告、指示が発令された場合の、避難率の向上についての、具体的な検証と検討について
- ②地元を離れている、不動産所有者に、空き家、空き地の注意喚起について

答弁（町長）

質問

- (一)局地的な気象情報が正確になりつつある。避難勧告指示が重要な要素になってきた。
- (二)発令があった場合、避難することは命を守るべき、第一歩である。避難率が低いことは今後の課題ではないのか。
- (三)前例を検証し、避難率向上のためには、地域の実情に即した避難計画を検討すべきではないのか。

答弁（町長）

小さな単位での自主防災組織での避難計画は必要と思うが、自主防災組織なので、町は指導助言はするが、するか、しないかは、自主防災組織の本来の、基本的な考えだと思う。

質問

県外に住所を有する、町出身者に対し、所有する土地家屋の適正管理を求める文書を、固定資産税の納付通知に同封してはどうか。空き地、空き家の適正管理について、出来る事からで

も対応してはどうか。

答弁（町長）

町外固定資産税対象になる方が80名程いる。この方々に適正管理を喚起する文書を同封することは当然出来る。



写真：命を守る防災訓練

五島準介議員



## ①土砂災害等の被害を最小限に食い止めるための取り組みについて

### 答弁（町長）

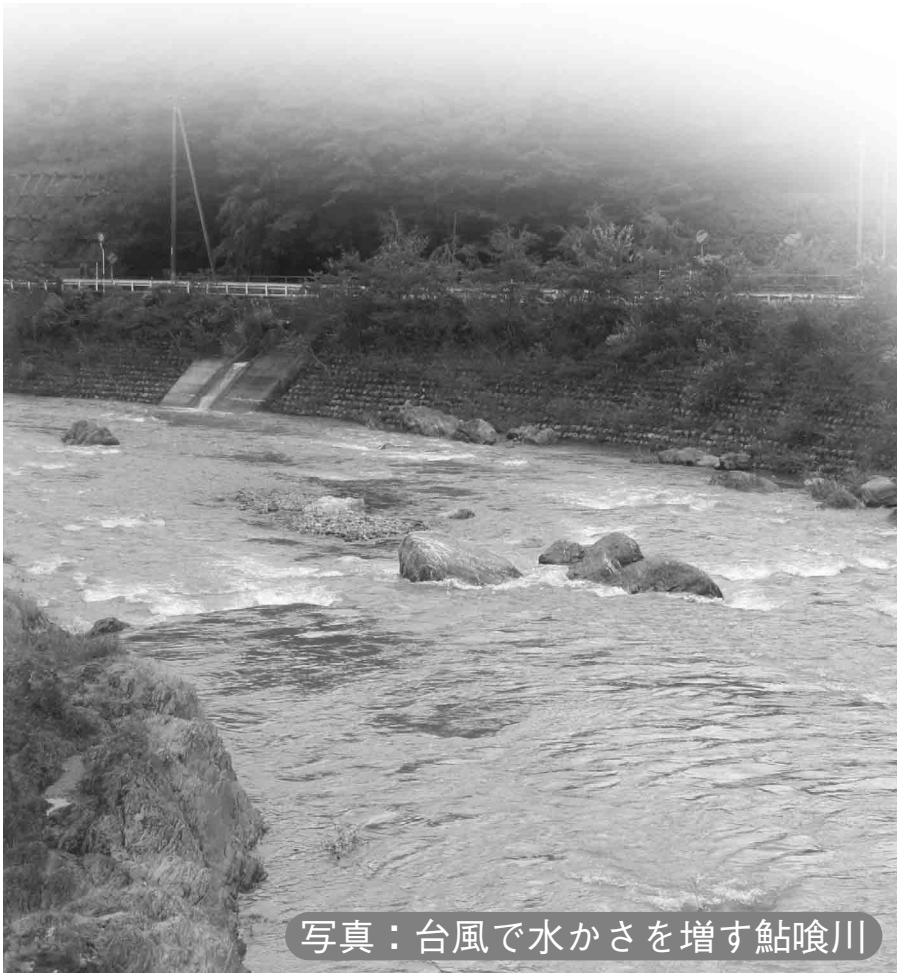
#### 質問

この夏、各地で異常気象による豪雨に見舞われ、中でも広島での土砂災害は多くの死者が出る甚大な被害となったが、神山町では土砂災害の被害を未然に防止するため、危険区域のパトロールや住民に対して防災措置の指導をおこなっているか。

また、広島では避難指示、勧告の遅れのため被害が拡大した一面があるが、神山町ではどのような対策、対応をしているか。

#### 答弁

危険個所のパトロールについては、年一回県、町、消防署、



写真：台風で水かさを増す鮎喰川

消防団でパトロールを行っている。今回の台風11号で各地で被災を受けているということもあり、現在特に危険と思われる箇所、12箇所を緊急に点検している。防災措置の指導については、防災無線で注意喚起を促したり、防災マップを各家庭に配

布するといった対応をしている。2点目の避難勧告、避難指示についてはであるが、神山町の場合には余裕をもって避難勧告等が発令されていると思っている。職員の配置についても担当職員が常に待機し備えている。

森本吉治議員



①休校施設のあり方について

②デジタル防災無線の電波状態について

答弁（教育長、総務課長）

質問

デジタル防災無線の運用状況について

8月頃からだ今試験放送中という音声がよく聞かれるように思うが、各戸の室内受信機の状態が悪いのかどうか。

答弁（総務課長）

平成25年度よりアナログ放送からデジタル放送に変更する工事を実施している。デジタル電波についてはアナログ波に比べて障害物に弱く、天候季節によって受信状況が変わってくる場合があり、当初は難聴家庭もあったが個別にアンテナの角度や位置調整で徐々に解消されている。試験放送中というものは、屋外機器の故障対応で本年度は屋外拡声器の建替工事を実施している今現在の機器はアナログ電波の放送で、今年には雷などの影響で、受信盤の故障などが例年以上に発生している。復旧後の確認のため音声を流している。本年度中に工事が終わる予定のためその後は故障が少なく

なる。

質問

アナウンスの女性の声について人工音声ということは知っているが余りに冷たく聞こえ、さびしい気がするが。以前のような温かみのある職員の声のほうが、聞きやすいという町民の声もあるので一考してはどうか。

答弁（総務課長）

現在パソコンで打って機械が音声に変換して放送している。以前は新人職員の研修も兼ねて男性職員、女性職員が1ヶ月交代で放送をしていたが、毎日放送があるということで音声変換装置を使って放送している。

質問

休校校舎の活用について

少子化の影響で神山町内には6校の休校施設があるが、有効利用されているか、全国には4425校の休校施設がありその7割が何らかの施設として活用されているが。

答弁（教育長）

現在休校施設6校それぞれ地

域の行事として、夏祭り、敬老会、役場の書庫、運動会、KAI Rの展示場などとして利用されている。将来的な活用方法として常時不特定多数が使用する施設となると耐震化が必要となり、多額の費用を投入して校舎を再利用するという考えはもっていない。

質問

各休校施設ともイベント、地域行事などには使っているが恒常的に使われている施設はないようである。耐震化のことを気にかけているが、全国の休校施設の7割が何らかに活用されているが、すべての建物が耐震化されているとは思えない。そのことについても調査し、休校施設に第二の人生を歩ませてあげてほしい。



写真：休校校舎



坂口一之議員



- ①学力テスト結果について
- ②小学校、中学校の統合について
- ③山の日（国民の祝日）について
- ④空き家改修について

## 答弁（町長・教育委員長・教育長）

質問

小学校6年生と中学校3年生を対象に全国一斉テストが実施されたが神山町の状況は。

答弁（教育長）

小学校6年生では秋田県が全国トップであるが、秋田県と比較して神山町は国語Aは約2ポイント高い。国語Bは13ポイント低い。徳島県の平均よりは高い。

算数Aは少し、算数Bは1ポイント高い。

中学校3年生では福井県がトップであり福井県と比較して国語Aは少し、国語Bは4ポイント低い。県及び全国平均よりは高い。

数学Aは1ポイント、数学Bは3ポイント高い。

神山町は小学校2校で21名、中学校2校で27名と、小規模校・少人数数学級の良さが出ていると思う。

質問

小・中学校の統合について教育委員会の考えを教育行政最高責任者の教育委員長にお聞きする。

答弁（教育委員長）

平成21年6月に少子化に伴う学校教育検討委員会から町長に対して、小学校2校、中学校1校という答申があり、教育委員会は中学校統合に向けて検討したが意見の集約ができなかった。

今後小・中学校の統合に対しては関係の保護者や、地域の方々の要望があれば検討する。

質問

山の日が2016年（8月11日）から祝日と決定しているが、木材単価が非常に安いので山林所有者の山林に対する関心も薄い状況である。

山林は経済的な面だけでなく防災、水源涵養、地球温暖化防止等々公益的・人間生活上の有益な多面的機能がある。

山林所有者、また住民の方の山林に対する意識改革が必要と思うが、町長の考えは。

答弁（町長）

各種林業振興事業には山の境界の明確化・林業に従事する人材の確保が必要である。来町した林野庁の課長に対し

て国として長期的な林業振興の制度設計を強く要請したところである。

8月11日の山の日に関心があつまるような色々なイベント等が出来ればと思ってる。

質問

町内には600戸近い空屋がある。改修して貸したいという所有者もあるが、その改修費用に対して助成措置を考えては。

答弁（町長）

現在借りた人に対して上限100万円を限度の改修費用の助成をしているが来年度から町民向けに住宅の改修費用助成制度を実施すべく準備中であり、貸したい人への改修費用助成についてもこの制度で解決でると思う。



写真：空き家

木元史幸議員



第4次総合計画、実施計画の検証  
(販売力の強化、耕作放棄地、農村風景の回復)

答弁 (町長、農業委員会局長)

質問

農業振興について

答弁 (町長)

特産品であるスタチに焦点を  
しぼり、東京すだち遍路を企画  
し展開をしている。現在は12店  
舗であるが、88店舗に拡大して  
いく、秀品でなく良品の販売。

質問

販売力の強化について

花卉花木を利用した生け花展  
の開催、スタチ、しいたけを利  
用した、創作料理の試食会の開  
催を検討してはどうか。

答弁 (町長)

道の駅周辺の混雑を考えると  
狭すぎる。

再質問

東部広域12市町村と連携し市  
場巡りを計画してはどうか。

答弁 (町長)

面白い企画でないか。

質問

耕作放棄地の現状と対策につい  
て

答弁 (農業委員会事務局長)

現在把握している耕作放棄地  
は7千筆225haである。

対策としては一斉耕起の日を  
もうけ年1回耕作放棄地の復旧  
を実施し啓発活動を行っている。

再質問

放棄地対策として協働の森事  
業農業版事業を計画してはどうか。

答弁 (町長)

ふる里納税の寄付金を活用す  
る考え方もある。

質問

茅の植栽について

山際の放棄地に茅を植栽し、  
有機肥料・景観づくりに利用し  
てはどうか。

答弁 (町長)

ヒオウギの生産部会に対し補  
助を実施している。

写真：たわわに実った稲

## 町内視察

### 中央簡易水道中央配水池を視察

9月定例会9月16日において現在進められている「中央簡易水道施設整備工事（中央配水池）、神領字谷の現地調査を実施した。

当日は、町担当者の説明を受け実施することができた。工事の概要について

#### ◎配水池

材質 ステンレス製、  
容量 460m<sup>3</sup>池式  
寸法 L16・0m  
W10・0m  
H3・5m

#### 緊急遮断システム 一式

地震発生時に給水を自動的に停止する装置

#### ◎滅菌・電気室築造

構造 鉄筋コンクリート

一棟2室（RC造）

#### ◎事業費

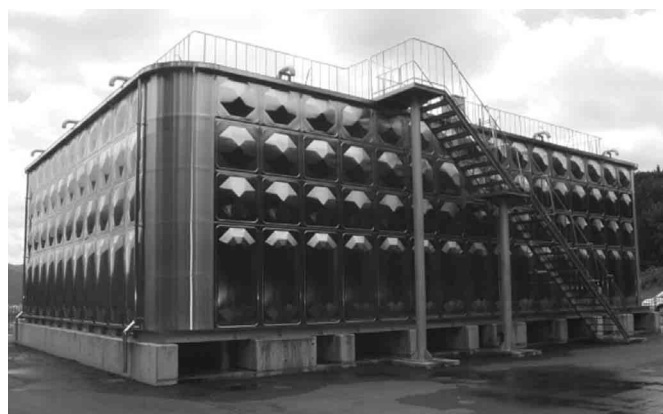
1億3105万4700円

#### ◎完成予定

平成26年12月31日



工事現場を視察



設置される同型のステンレス配水池

## 監査委員研修

### 町村監査委員全国研修会に

参加して

平成26年10月2日・3日、東京都メルパルクホールに於いて平成26年度町村監査委員全国研修会があり、議会選出の榎本監査委員、事務局と3名で出席した。主な概要は次のとおりである。

#### 1. 人口減少時代の自治体経営

講師・財団法人地域開発研究所

牧瀬稔主任研究員

人口を維持し増加させるには、「対策」ではなく「政策」という発想が必要である。対策は「現実対応」になる。それは「今、目の前にある問題を何とかしたい」という一心で取り組むことを意味する。どうしても狭視眼的な見地からの行動になる。

一方、政策は未来志向である。未来志向には希望が湧いてくる。様々な観点から可能性を探ることになる。その結果、心にも余裕が生まれ、成功の軌道に乗りやすくなる。そして未来

志向を確立するためにはしっかりと政策研究が大切である。

#### 2. 住民監査請求・住民訴訟の実務

講師・市町村アカデミー

大塚康男客員教授

最近増加傾向である住民監査請求とは、地方公共団体の執行機関（町、委員会、委員）又は職員の違法又は不当な財務会計上の行為、若しくは怠る事実（財務会計行為）について、住民が監査委員に対し、当該行為の防止、是正、損害の補償のために必要な措置を求める制度である。今回は特にチェック項目など詳細に説明があった。

#### 3. 効率的監査の執行と監査責任

講師・公認会計士

池田昭義先生

監査制度の充実強化の方策について、①監査基準、②監査委員の専門性及び独立性の確保、③監査委員事務局の専門性及び独立性の確保、④内部統制の整備、⑤外部監査制度のあり方等の研修があった。

（代表監査委員 橋本 稔）

平成25年度

# 決算

一般会計と特別会計合わせ

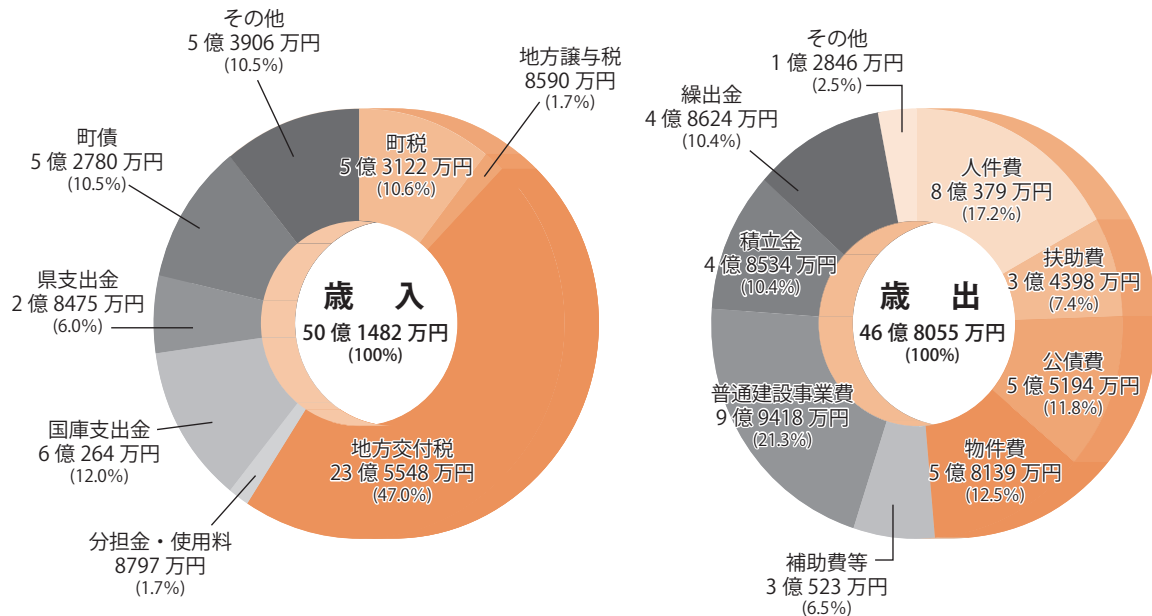
# 72億9019万円を認定!!

## ●平成25年度決算状況

(単位：千円)

会計区分		一般会計	特別会計				計
			国民健康保険	簡易水道事業	介護保険	後期高齢者医療	
歳入	25年度	5,014,828	1,043,343	178,374	930,424	123,222	7,290,191
	24年度	4,368,955	1,091,843	146,266	939,026	116,063	6,662,153
	増減額	645,873	△48,500	32,108	△8,602	7,159	628,038
	増減率(%)	14.8	△4.4	22.0	△0.9	6.2	9.4
歳出	25年度	4,680,557	909,116	163,339	918,963	123,046	6,795,021
	24年度	4,190,331	992,120	135,995	930,250	115,945	6,364,641
	増減額	490,226	△83,004	27,344	△11,287	7,101	430,380
	増減率(%)	11.7	△8.4	20.1	△1.2	6.1	6.8

## ●一般会計決算の内訳



25年度普通会計地方財政状況調査に基づくもので、決算額と一致しない。

# 税の公平化と収納に努力を～町税等 滞納総額 3337万円

## ●平成25年度の財政状況

名 称	指 数		解 説
	25年度	24年度	
財 政 力 指 数	0.214	0.217	1 に近く 1 を超えるほど財源に余裕がある。
経 常 収 支 比 率	76.4	76.4	財政構造の弾力性を判断する指標で、75%程度に納まるのが妥当と考えられている。
公 債 費 比 率	4.9	3.3	一般財源に占める公債費の割合で、15%を下回るのが望ましい。
実質公債費比率	4.0	4.7	全ての事業の公債費比率で、18%以上は起債（借入金）に知事の許可が必要

## ●平成25年度町税等未収金の状況

(単位：円)

区 分	未 収 額		前年度との比較	
	25 年 度	24 年 度	増 減 額	増減率 (%)
町 税	32,588,300	33,384,458	△796,158	△2.4
町 営 住 宅 使 用 料	273,300	254,800	18,500	7.3
国 民 健 康 保 険 税	13,938,641	14,763,700	△825,059	△5.6
簡 易 水 道 使 用 料	42,140	93,340	△51,200	△54.9
介 護 保 険 料	753,900	534,300	219,600	41.1
後期高齢者医療保険料	149,150	224,450	△75,300	△33.5
計	47,745,431	49,255,048	△1,509,617	△3.1

借り入れ金や基金はいくらになっているか

●地方債現在高（3月31日現在）  
28億1732万円

●基金残高（3月31日現在）

一 般	財 政 調 整 基 金	40億0384万円
	減 債 基 金	9 億1631万円
	その他特定目的基金	22億5618万円
国 保	財 政 調 整 基 金	5000万円
	そ の 他 の 基 金	500万円
水 道	基 金	2128万円
介 護	介 護 給 付 費 準 備 基 金	1 億7321万円
	そ の 他 の 基 金	359万円
計		74億3241万円

## 平成25年度「一般会計」決算を認定

－安心安全な住み良いまちづくりの決算になったか－

決算額を前年と比較し、歳入で増加したのは国庫支出金の3億9707万円193.1%増、町債の2億710万円64.6%増があげられ、逆に減少したのは県支出金2402万円7.8%減、諸収入1390万円11.2%減などとなっている。

歳出で増加したのは、消防費で3億5715万円176.4%増、教育費で1億3959万円45.3%増などとなっている。減少したのは総務費8844万円6.9%減、災害復旧費1601万円16.1%減などとなっている。

増加は、防災行政無線施設整備工事、広野公民館耐震工事、上分公民館建替工事の実施、減少は人件費、災害による復旧事業が減少したことによる。

財政では、実質公債費比率が、4.0%（昨年4.7%）で昨年度より0.7%下回っているが、さらに効率的な財政運営に努力するよう監査委員から指摘があった。



## 編集後記

8月中旬の広島市の集中豪雨による70名に及ぶ死者、9月末の木曾御嶽山の水蒸気爆発による50余名の死者がでるなど、自然災害の猛威をあらためて痛感したところである。

自然災害の被害を少しでも軽減させるべく人間の英知を結集して、減災対策につとめてもまだまだ追いつくことの出来ない自然の力にひれ伏すのみであろうか。

この議会だよりが、皆様の手元に届くころは11月中旬になって紅葉の季節となり高地では錦秋が山肌を覆っていることと思われる。自然の力は人々に牙をむいて襲ってくることもあれば、人の心を癒してくれる自然の美しさをもち合わせているのもまた事実である。

(森本吉治)

## 議会の動き

10月

- 2～3日 監査委員全国研修会
- 6日 主要地方道神山鮎喰線整備改良促進期成同盟
- 8日 四国四県町村長・議長大会
- 9日 主要地方道石井神山線並びに高原石井線整備改良促進期成会
- 22～24日 議会議員行政視察研修
- 28日 国道193号倉羅トンネル開柵促進期成同盟

11月

- 28～31日 会総会 定例監査
- 29日 四国横断線改良促進期成同盟会総会

12月

- 7日 四国地区町村議会議長会研修会
- 10・11日 財政援助団体及び指定管理団体監査
- 12日 町村議会議長会全国大会
- 13～14日 徳島県町村議会議長会役員研修会
- 21日 神山町子ども議会
- 中旬～下旬 12月定例会